



豊後大野市教育委員会

---

---

## 会 議 要 録

議 題：第 4 回豊後大野市図書館及び資料館建設検討委員会

日 時：平成 29 年 1 月 6 日（金）18：02～20：00

場 所：豊後大野市中央公民館視聴覚室

欠席者：萩原照光委員、衛藤孝典委員、工藤妙子委員

1、開 会 18：02～

2、議 事 18：04～

～第 3 回検討委員会として実施した研修に諫早市を選択した経緯等について委員長から説明があり。全国の同じ規模の図書館について、資料により説明。県内の図書館の状況について追加資料を配付した。～

### （1）諫早研修（第 3 回検討委員会）の振り返り 18：04～

委員長	市内に複数館の図書館を持っているところは少ない。（別紙）豊後大野市と人口が近い所を列挙した資料を用意した。ポイントは面積比もあるが、人口や職員数も指標にしてほしい。また貸出し数も。これらの資料をたたき台にしてほしい。
事務局	特に事務局としては用意していません。
（委員長から各委員に感想等を求めた）	
佐藤委員	たらみ図書館のホールに感動した。読み聞かせに使用する卵型のもの、環境、雰囲気よかったと思った。
渡邊委員	人口比からして、図書館の規模が大きいと感じた。豊後大野市の図書館がいかにかさかたのかということを感じた。大変参考になった。諫早図書館は、堂々として鉄筋コンクリートでできている。これらをどう評価するか。今後の勉強が必要と感じた。
吉岡委員	お金がかかっていると感じたが逆に市が力を入れていることも感じた。利用者の声を聞けなかったのが気になる。それぞれの図書館の役割が、それぞれの地域で異なっていると感じた。
後藤委員	三者三様で素敵だった。 わたしはたらみ図書館が気に入った。館内に死角があることなどで入りやすい、のんびりできる、過ごしやすと感じた。
田原副委員長	喫茶コーナーは是非とも取入れてもらいたい。 県下ではそこまで（喫茶）はすすんでないのかなと感じた。
上野委員	学校、子どもの視点から、たらみ図書館は子どもが親しみやすと感じた。

	駐車場も充実していた。
杉浦委員	合併があったため複数館あり、個性があった。とりよせる、ネットワーク、分散型の魅力を感じた。ただ、約4万人の豊後大野市でできるか。
藤内委員	たらみ図書館の立派さにびっくりした。この設計者に頼めばいいかと思っただくらいである。職員と地域のネットワーク、協力が得られていることが全ての図書館で感じられた。利用者、サークルによる壁新聞などは、豊後大野市に足りないところなのかも。図書館に市民が目を向けてくれる工夫が必要だと感じた。理解を深めるために必要。
委員長	自由に感想を言ってください。喫茶などコーヒーのコーナーについては、最近始まった取組み。ジュンク堂が始めたもので「本が汚れるので飲食はダメだ」という常識に風穴を開けた。なかなか実現できなかったものだ。
後藤委員	たらみ図書館では、喫茶も一旦はつぶれたが、後に NPO (法人) が再開したと認識している。エトピアおおのの状況もみると(喫茶は)難しいのかなと感じている。
委員長	経過を知っているのだが、たらみ図書館は公民館図書室からの流れもあった。滋賀県の四日市市では市民が公民館図書室でコーヒーを飲んでいて、2階にコーナーを設け、100円で飲めるコーヒーとして30カップを置いて好きなものを選んだ。寄贈本を配置したりもした。島根県海士町では茶飲み話をしながら本を読んだ。本の中身について気がついたことなどあるか。郷土資料を(たらみ図書館の)2階で扱っていた。各館が役割を分担して運営していた。森山図書館は火災にあってしまったので違った印象を感じたのでは。駐車場は、3つの図書館とも広い。
田原副委員長	位置としては学校から近いのがいいと思う。
委員長	森山図書館は学校の隣にとした。町のセンター(中心部)でなくて小中学校のすぐそばにある。諫早図書館は諫早高校の隣。たらみ公民館はスポーツ公園の隣。
吉岡委員	諫早図書館では、古文書等の資料がある。資料館を併設すれば、歴史資料や古文書含めて色んな資料が出ると思う。収蔵の施設として(諫早図書館は)参考になる。豊後大野市は有形資料をどうするのかを考えていく必要がある。
佐藤委員	私は次の日に長崎の金光図書館に行った。私立の宗教団体が運営している。職員の対応の良さ、特に「できない」という言い訳をしない。足の不自由な方に7~8人の職員がなんとか本を見せてあげるという気遣い。同じ宗教の会員だけでなく町の人にも開放している。震災の時に、地域に分館を作った。町から飛び出した取組みを行っている。ひとつのまちの図書館と言うより連携ということで価値がある。
渡邊委員	諫早市(3図書館)は郷土の詩人、作家のコーナーがある。豊後大野市でも関係する人の紹介などができるといい。たらみ図書館は開放的な空間がよかった。一方で案内してくれた人に「冬は寒くないか」と聞いたら「寒い」と

	答えた。「(室温が)程よい」ということも検討すべきことだと思う。
渡辺委員長	ハードの面ではいかがか。
吉岡委員	諫早水害があったことから、水害に対して資料、文化財にどう対策しているか。例えば諫早図書館の場合、重要資料は2階に保管していた。豊後大野市の図書館も川沿いであり、洪水も考える必要がある。
委員長	東日本大震災の津波の発生以降、立地場所にも配慮するようになった。
杉浦委員	たらみ図書館の場合、市民の交流、連携、公民館機能を持っていた。委員長からその辺で説明があればいただきたい。
委員長	水害に関しては、森山図書館では、過去発生した諫早水害の状況を分析の上設計者と協議した。ただそこ(たらみ図書館)は軟弱な地盤の干潟地への立地といったことから、パイルを24～25本打っている。立地も検討課題かもしれないがその部分は専門家が担当する分野。 コミュニティの問題については、図書館が機能化している。今までの図書館が本を提供することから、電子情報化を迎え、密度の高いサービスをどうするのかという点が検討課題としてある。各情報をかみ砕いてどう伝えるか、MLAK 連携、役割分担をどうするか、口で言うのは簡単だが、難しい課題である。みなさんが「この図書館に行きたい」というのがあれば、自分も見学したいので教えてほしい。暖房については、滋賀県で床暖房を取入れた。節電対策もして工夫した。技術的なことは、「こうあってほしい」ということを伝えていくこととしたい。
<b>(2) 公民館図書室について 18:34～</b>	
事務局 (小野)	～資料に基づいて説明～ 公民館利用者が必ずしも公民館図書室を利用しているとは言えない状況です。公民館図書室の利用者は純粋に図書室の図書を借りにやってくる方が多く、また多くはヘビーユーザーです。
委員長	ご意見があるか。大野公民館は3冊となっている。人がいて、役割を担えば運営をどうするかで変わってくる。
後藤委員	大野公民館図書室を見学した。鍵をかけていて物置になっている。広さはあるし設備もちゃんとしていてエアコンも電気もある。「もったいない」と感じた。コーディネーターもなぜ配置していないのかな。 清川公民館は、渡部先生が言ったように外から窓で見えるようにしたらという意見を採用し改善した。利用者が限られている。近くに保育園があれば幼児用の絵本を置くとか。また電算化した場合、どれくらい予算がかかるのかその点は把握できていない。
委員長	人口比で清川町、千歳町に近い所で、海士町がある。そこは、公民館機能も有していながら年間1万1千冊の利用がある。そこには本があって人がいてサービスがある。ホスピタリティーを含め人がどうかかわっていくかが重要である。 1946年の社会教育法の施行で公民館が位置づけされた。当初、公民館

	は博物館、図書館機能を持てるということで設置が進んだ。しかし公民館図書室の限界があった。ただ一か所、国立市は図書室に司書を置いている。公民館の活動に使える資料を揃えている。財政上の問題もある。
佐藤委員	朝地公民館の図書室を見た。少ない予算で頑張っていると感じた。熱心なコーディネーターがいるところは割と本が貸し出されている。ただ、ごく限られた人が何度も借りている。
委員長	公民館図書室と図書館は性格が異なる。公民館図書室はプライバシー保護の視点が欠落している。図書館の視点に立っていないと利用されない。今後連携することで克服できる課題である。なお、図書館報に載っている実績は、図書館法の規定によるもののみである。(別紙)
<b>(3) 基本構想について 18:45~</b>	
事務局 (小野)	(別添資料)1~7についてみなさんの意見を聞いていきます。事務局が構想案として示す具体的なものは作っていません。基本的にはこの委員会でいただいた意見を聴取した上で足りない部分を補足しながら整理・文章化していくのが事務局の役割であると認識しています。本日は、その中の、経緯について、そして(図書館の)現状と課題、最後に(図書館の)コンセプトについて説明し、質疑等があればそれに答えていきたいと思っています。なお今回議論いただいたものを、次回までに整理し、また次回は次回で議論をしていく、これを繰り返し行っていくような格好を想定しています。
委員長	進め方について質問はあるか。 今日は、図書館の現状と課題について検討いただく。 タイトなスケジュールだが手順を踏んでいきたい。
吉岡委員	基本的にはこれで良いと思うが、最初に図書館と資料館について、一緒にするのか、若しくは入口を分けて一緒にするのか、そのあたりの議論が無いと。
委員長	(個人の見解として)2つの役割が異なるものを一緒にはできない。学校と劇場が一緒になるのが無理な話というのと同じ話である。 森山図書館の時に、福祉センターと図書館を一緒にするという話が町長からあった。 役割をきちんと明確にし、図書館は図書館、福祉センターは福祉センターとして別にした経緯がある。
後藤委員	(個人の見解として)図書館と資料館を一緒にするかという議論を置いておくのは賛成である。というのは、図書館について、大きい本館を作り、小さい分館をいくつもつくるのかという部分については、(7つが合併したということもあり)中身が複雑なので時間をかけた方がいいと思う。 私は委員個人で市民にアンケートを実施した。歴史民俗資料館のことを知らない若い人が多いのが残念であった。利用もしたこともない、ましてや場所も知らない。歴史資料館の現状を知らないことを変えるには図書館と一緒にすることは有効であると思う。私はそれを先に決めておいた方がいいと

	思う。
藤内委員	議論がずれるかもしれないが、緒方町に歴史資料館があるが、緒方町以外の人は資料館のことを知らないし興味もないようである。ただ三重町に行けば何かがあるという風潮、何でも三重町に集まっていて、ケーズデンキもできている。まちづくりとしてはそれもありだと思ふ。図書室の利用状況を見て“こんなに支持されていないんだ”とショックを受けた。まずは図書館を考えてどういうふうに進めていくのかということを考えて方がいいと思ふ。
杉浦委員	(図書館と資料館)分けた方が整理しやすい、でもトータルで考える必要がある。エイトピアおおのも含めて複合的に生かす方向で考えるとすれば総合的に考えていくことはどうか。ただ、ちょっと往復運動が必要で、まずは図書館そして資料館で整理して、ただトータルでどうしたらいいのか、別々の方がいいのか。まずは各論を進めていき、今ある施設を活かすのか、後半あたりにその議論があつたらいいと思ふ。
委員長	結果的に一緒になってもしても、最初からまぜこぜの議論があつたら、両方の機能をどうするか、それぞれの機能を担保しながら議論する必要がある。
田原副委員長	今日は4回目の検討委員会である。検討する日が3月の2回目までしかないので時間的な余裕がない。月に2回の委員会でもまとめていくという話で進んでいるので、話を広げてしまつてとりとめもないことは無理である。集約的に話をして、3月末を見据えて進める必要がある。
委員長	コンセプト、現状と課題で進めていいか(了承)。 次回以降は具体的プランを事務局と検討して提示する。 そしてみなさんから意見をいただいきたい。
事務局 (小野)	～何故建設することになったのか。経緯により説明した。～ (別紙資料より)図書館建設については豊後大野市総合計画、豊後大野市総合教育計画、社会教育計画等に建設の計画が盛り込まれました。 資料館の併設は、市民団体から陳情、要望という形で出てきたものです。 それに基づき市、教育委員会で検討した結果一緒に建設を検討しようということになりました。
委員長	長期計画、議会、各種委員会の手順をふんでできたもの。 総合計画にうたわれていることを市は忠実に実行していく立場にある。 ほとんどの自治体では同様の流れで取り組んでいる。行政の普通のやり方である。
事務局 (小野)	現状と把握については、設備、提供体制、利用状況の3つかと思いますが、委員長、委員のみなさんにも別のカテゴリーがないか問うてください。
委員長	(全国の状況、県下の利用状況について、配付資料により説明) 諫早は別府と同じくらいの人口規模。現状と課題について、施設設備は重要。それに人の関係がセットされると利用状況に表れてくる。
太田係長	(県内の状況について、資料により説明)新館のオープンも参考にしてくだ

	さい。
委員長	(資料を見ながら)他の自治体と豊後大野市が異なるのは、面積である。面積の広い自治体は分館を設けたりしている。旧三重町で言えば全国平均であるが、市全体の面積で見るとどうか。現状については、これでいいか(了承)。
事務局 (小野)	～課題について説明～ 現状については数字等で事務局より説明できますが、行政から積極的に課題を指し示すことは少し難しいです。利用者として課題があればあげていただきたいです。
委員長	利用者目線で現状は理解いただいた。課題が見えていれば出してください。
後藤委員	資料数が多い必要がある。建物が立派でも資料が少ないとお客さんが少なくて困る。
委員長	品揃えが必要ということ。
吉岡委員	数字を見ると、本市の現在の図書館は、床面積が狭い、蔵書数が少ない、県内においても、10万冊から20万冊はほしい。最近立っている図書館を参考にすると面積も2,000㎡は必要ではないか。 蔵書の中身としては、図書館でないと読めない本が欲しい。 新刊も必要ではあるが、専門書もない状況であり、課題かなあと思う。
委員長	1㎡あたり100冊、2,000㎡とすれば20万冊になる。多すぎるとスペースが足りなくなる。 それでいくと三光村は62㎡で、6,200冊となる。23,000冊あるとすればそれでは狭い。他にはいかがか。図書館にあってほしいものがないと意見があったが、やはり図書館の職員でないと拾えないものもある。全国に一般的に流通するものは限られる。小出版社のもの、例えば福岡の葦書房という出版会社があるは、そこはいい本を出している。鹿児島にも南日本出版社という会社がある。中央の流通に載らないものをいかに揃えられるかが重要となる。面積も大切。図書館は成長して本も増えてくる。最初から1000㎡、10万冊でスタートするとすぐにいっぱいになる。中央館だけでなく全市的に見て、例えば朝地から見てアクセスとかはいかがか。どうあるべきかなど。
藤内委員	現在の図書館は駐車場が入りにくい、出にくいので、広くとってほしい。特に人が集まるようになればなるほど事故が起こらない形で十分な広さを取ってほしい。あと水害、雷、地震など、天災にも対応してほしい。あと、トイレもおざなりになっている。障がいがある方も気持ちよく利用できるような配慮も(必要では)。
委員長	例えば和歌山市民図書館、そこにある駐車場も会議等で利用した場合、1,300円の料金がかかり、それを払っているところもある。一方和歌山県立図書館は無料である。市民サービスとして駐車場問題は重要。かつては自

	<p>動車文庫(BM)があった。現在は、自動車は重要な移動手段である。森山図書館では、トイレにお金をかけた。男子トイレにおむつ交換のスペースも設けた。</p>
佐藤委員	<p>大野町に出入りすることがある。朝地、大野町は図書館に対する関心が薄い。図書館について話をすると「どうせ三重町にできるんだろう」ということになる。市民図書館ということにするとみんなで考えることが大切。大野町では音楽が盛ん。楽譜とかの資料を大野町の図書室に置けば、三重町の人でも大野町に行く。朝地町には朝倉文夫記念館があるので芸術関係の図書を置くとか。(専門の各)分野に特化した本を置くことができるのかどうか。また図書館は新書を置くのか。金光図書館に行ったが、古書、珍しい本がバックヤードに入っていた。</p>
委員長	<p>図書館法に“地域の事情に沿い”とあるが、平準化してしまっているのが現在の図書館感である。それではいけないというのが私の立場で、地域とともに歩いていくことが大切。緒方町、三重町(の図書館)は早くから図書館法が根幹にある。朝地、大野町はそういった経緯がない。楽譜、古書も集めなければそろわない。</p>
佐藤委員	<p>そういうことが可能であれば、三重町に本館の図書館を置いて、各町に図書館機能を持った特色あるものを置くことで納得していただき関心を示していただくことができるのではないかな。</p>
後藤委員	<p>みんなで考えるということがあったが、市民と検討委員が離れているような気がする。私個人でアンケートを配布する際、検討委員会の名前でない学校で受け入れられないと拒否されたりした。なかなかアンケートを取れない。ボランティアを募ったり、アンケートを配布したり、もしくは学校の中で市民に広げる工夫ができないかということ(市への)要望として考えている。また、システムを電算化して、どこの支所でも図書の状況を調べられるとか、太陽光パネルを使って燃費を上げてコストを下げるとか、エコに配慮する。各町の公民館にバスを運行する。建物内において騒いでいいエリアと静かなエリアを分けるといい。そうなると学生も集まりやすい。</p>
委員長	<p>要望を出しても実現できないところもある。それは仕方ない。</p>
渡邊委員	<p>駐車場の話があったが、子どもや運転免許証を返納した高齢者が図書館に行けるようにしてほしい。(立地場所は)特に子どもが行きやすいところであってほしい。</p>
委員長	<p>アクセスが非常に重要。森山図書館では、BMでなく巡回バスを回すようにした。愛知県の田原市では、コミュニティバスの停留所に入れるとか、ソフト面の配慮も必要。</p> <p>アンケートで住民がどう考えているか。大きな骨子は作ったとしても、基本構想にとりかかる前に住民の意見を聞くのもいい。滋賀県でやったが、70団体にヒアリングをしてそれを検討委員会に活かすというもの。今の時間でアンケートをとっても時間が足りない。基本計画(構想)を出す前に利用団</p>



	体の意見を聞くことも大切。
杉浦委員	豊後大野市は再生可能エネルギーに頑張っている。市はバイオマスの分散化、国の全額免除で市内 17 カ所の公共施設に小型のバイオマス発電施設を置くということも、顔になる部分。ソーラー、バイオマスなど自然再生エネルギーが 100 パーセント以上あるのだから、うまく活用するといい。ハードでは、公民館的な機能も入れるといい。
委員長	バイオマス発電では、岩手県の紫波町が、バイオマスを使った暖房を導入している。薪ストーブを使っているところもある。実現可能かは別として、意見を出してください。ドイツでは、エネルギー対策にも取り組んでいる。
吉岡委員	現状と課題のところ、 ① どういう世代が(図書館を)使っているか？ ② どういう世代に(図書館を)使ってほしいか？ ③ 図書館に来る人は、どの町の人が多いのか？ 感触でも何でもいいので、子ども、中高生、成人、高齢者等、データがあれば。どういう人をターゲットに展開するのか考えるためである。
委員長	各図書館で年齢別、地区別のデータは出せる。事務局、準備を。学生がどれくらい公民館、図書館、博物館を使っているかというデータを取ったことがある。その結果、公民館の利用は若者にはほとんどなかった。(公民館は)年齢が高くなるほど利用が増える。図書館は、子どもの時代から使っている。博物館は子どもの時に使って、また、子育て世代の時に使っている。豊後大野市のなかでもアバウトであってもそこを調べてほしい。
藤内委員	諫早に行った際に、図書館でパソコンを使える場所があった。Wi-Fi も充実させると、Wi-Fi 目当てに学生も来ると思う。大人もパソコンで勉強したいと思う。視聴覚室の充実である。
委員長	Wi-Fi は、スターバックスでビジネスマンが使う。持込みのパソコンを使うことができる図書館もある。図書館に来ない層への開拓にもなる。
渡邊委員	現在市の職員数が効率を上げるために減っている。我々の議論が市の大きな流れとかけ離れてもいけない。今はまだ詰めにくいと思うが、資料館と図書館の一体化を考える時に職員数を減らす、特に公民館の正職員減らすという流れもあるが、その調整が必要である。
委員長	今後、学校と図書館の連携が進んでいく。これは司書の配置が法律で明記された。公共図書館と関係できないかと考えた時に、学校図書は地域に開放しなさいという文言もある。わずかな例ではあるが、沖縄の知念村立図書館は、小中学校の間にあり、利用している。鹿児島島の沖永良部島にもある。近頃滋賀県の東近江は図書館をあえて学校のそばに建てた。そうした学校と共有する工夫は人員削減にもなる。その点は今後議論する必要があるので次回検討委員会以降、たたき台にもしていこう。
委員長	コンセプトに入っているか。時間も少ないが。

事務局 (小野)	～基本理念、基本方針、サービス目標の考え方について説明～ 現状、基本理念は、事務局として明文化はしていません。 基本方針は、社会教育計画の 1 ページにある「これからの基本方針」が該当します。 サービス目標は、大まかの数字はあります。これが新しい図書館になったときにどう変わるか、今はここだが、ここまでになるのではないかというものが出てくるのではないかと思っています。
委員長	資料は現状の目標なのでこれが新館体制になった時にどれくらいのところにかかという目標を掲げないといけない。私はベンチマークというのを用意し、今年度はここまで行きますと議会などに説明していたが、これまで数値的なことがこれまでであったか。
太田係長	毎年、目標指標は設定しています。それをもとに見直し、評価もしています。1人あたり貸出冊数、蔵書冊数など。5年に一度見直しをしている。
委員長	新館になったときに、どのくらいを目標にするとかいうことがないと、冊数、駐車場に反映されない。ちょっと時間をいただきながら次回以降検討をしていきたい。途方もない計画は無理なので、実現可能なところ、平均値より上位でといったところで落ち着くのではないかと思う。文部科学省が定めた「望ましい基準」がある。その中で利用実績の高い上位 10 傑がある。それは人口段階別に基準があるので、それに向けてやるか、それは色々な考え方があり。次回以降準備しようと思う。
事務局 (小野)	委員長、確認ですが、本日で話した基本理念、基本方針、サービス目標については、事務局で案を作って示す形で良いということですか。
委員長	今日は時間が無いので、事務局と委員長とで案があれば作って出すということでもいいか。
一同	(了承)
田原副委員長	たたき台があった方がいい。
事務局 (小野)	わかりました。
委員長	最後に副委員長にご挨拶をいただきます。
田原副委員長	今回から具体的な基本構想に入った。当初戴いた資料に3月13日まで月2回とある。できるだけじっくりしたいが、期限が切られているのでできるだけ効率の良く行いたい。みなさんの英知に期待する。本日はお疲れさまでした。
事務局 (廣瀬)	～広瀬から事務連絡～ 次回開催は、1月20日(金)、18時からです。その次は、2月6日の予定だったが、都合により2月3日(金)の18時からに変更します。
真部課長	以上となります。本日はありがとうございました。
	<b>～20:00 終了</b>

---

---

記録者：小野